

# 海老名運動公園再整備における民間活力導入に向けた サウンディング型市場調査の結果について

## 1. 調査の目的

海老名運動公園は都市公園として昭和57年度の開園以来、総合体育館、屋内プール、陸上競技場、野球場及び庭球場を中心としたスポーツ・レクリエーションの中心地であるほか、大型遊具やポニー・小動物とのふれあい等、子どもの遊び場としても親しまれてきました。

一方で、スポーツ施設の老朽化対策が喫緊の課題となっていることに加え、改修に際しては将来的な人口減少の見込みや社会経済情勢、公共施設を取り巻く市民ニーズの変化、更に今後見込まれる新たなニーズへの対応も必要となります。

こうした状況を受け、本市では「海老名市公共施設再編（適正化）計画」（平成29年3月策定・令和6年2月改定）や「海老名市個別施設計画」（令和4年3月策定・令和6年8月改定）を策定し、当面進めていくべき施設の方向性を示す基本指針として、令和6年7月に「海老名市スポーツ施設の今後の方向性」を策定しました。以上の経緯を踏まえ、海老名運動公園再整備計画を改定しているところです。

今回のサウンディング型市場調査では、海老名運動公園の設計・建設・維持管理・運営について、民間活力の活用の可能性、どのような事業手法が適しているか、民間事業者の創意工夫が図れる点はあるか等について意見を収集し、今後の事業実施に向けた条件等の整理・検討に活用することを目的としています。

## 2. 調査スケジュール

|          |              |
|----------|--------------|
| 実施要領の公表  | 令和7年4月7日（月）  |
| 調査票の提出〆切 | 令和7年4月24日（木） |

## 3. 調査票提出事業者

参加企業数：9社（建設、サービス、総合商社、園芸、建物管理、運動施設運営等）

## 4. 主な意見

| 項目              | 主な意見   |
|-----------------|--|
| アイデア、提案について     | <ul style="list-style-type: none"><li>・民間施設として、地域物産販売所、ガーデニングスペース、サイクルステーション、スポーツ施設、カフェ等の設置が考えられる。</li><li>・運営面では、各種運動教室・イベント、トップアスリートを招聘したイベント、音楽フェス、フードフェス、花や緑のイベント、自然体験教室の開催等が考えられる。</li></ul>  |
| 事業手法について        | <ul style="list-style-type: none"><li>・「PFI + 設置管理許可 + 指定管理」方式や「Park-PFI + 指定管理」方式による民間企業の参入も可能。Park-PFIの範囲は限定してほしい。</li><li>・民間の資金調達は難しいため、民間が建設費を負担するPFI（BTO）ではなく、公共が建設費を負担するDBOのほうが参画しやすい。</li><li>・維持管理・運営期間は、15～20年程度が望ましい。</li></ul> |
| 想定される課題やリスクについて | <ul style="list-style-type: none"><li>・建設コストの高騰により民間事業者参入は難しいのではないかと。</li><li>・公園全体ではなく、個別事業となれば事業コストが上がり、事業メリットが得られない。</li><li>・立地的に常設の飲食店は難しいのではないかと。</li></ul>  |
| 参画意向            | ・興味・関心がある：8社　あまり興味・関心がない：1社  |

## 5. 調査結果の取扱い等

- ・ 本サウンディング調査で寄せられた意見等は、今後の海老名運動公園に係る計画の策定及び公募条件の検討等に活用します。
- ・ 具体的な提案内容については、調査票提出事業者のアイデア・ノウハウが含まれるため非公表とします。
- ・ 引き続き、サウンディング調査等によりご意見を伺いながら、公園再整備を行ってまいります。